

新基地反対 挑むがゆ



辺野古 国の圧力に怒り 県民大行動

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設を反対する県民大行動が7日、辺野古の米軍キャンプ・ショウブゲート前で行われました。900人（主催者発表）が結集し、国が新基地建設の軟弱地盤改良工事のための設計変更を県に代わって承認する「代執行」に向けた抗議したことなど怒りの声を上げ、設計変更を承認しない玉城デニー知事を支える力をさらに強め、決意を新たにしました。→関連の面

主催は「辺野古新基地を造らせないオール沖縄会議」。「デニー知事がんばれ辺野古『不承認』が沖縄の國體だ」と書かれた横断幕が掲げられ、参加者は「争いを止めじ」「私たちの手」「一知事を応援します」と手書きしたアラカードを手にしました。 「オール沖縄会議」の糸数慶子共同代表は「沖縄の尊厳と地方自治を守るために、知識を孤立させてはならない」と参加者を鼓舞。徳田博人・琉球大学教授は「今回の代執行は法理的ではない」と諭論的におかしく、「デニー知事は筋を通して私たちの苦衷を理解している。このたたかいで負けじ」と強調しました。

沖縄県田の野原国分議員 上がり度を上がり度を「ひかげました。
「デニー知事を改めて新基地建設を止めたい」と度を
かかげました。
沖縄県統一連の瀬長和興 城市議は「思ひは一つ。
本共産党の高山美智雄 職業としてはないな」と訴えました。
沖縄県議会議員 が、それぞれの環境で立
どいいの「ひかげたこの状況」
びかげました。

新基地阻止心一つ



「知事の不承認 支持」のメッセージカードを掲げて新基地建設反対をアピールする参加者ら=7日、沖縄県名護市辺野古

「辺野古新基地を造りたくないオール沖縄会議」が7日に沖縄県名護市辺野古の米軍キャンプ・ショワブゲート前で開いた「止めよう! 辺野古の新基地建設 民衆大行動」には、各地からの900人が駆け付けました。

沖縄県民大行動 各地から900人

参加者は、最高裁の不当判決や、沖縄の民意を一顧だにしない国が強硬姿勢に対する怒りを胸に、新基地建設阻止に向けて心を一つにしました。同時に、新型コロナの感染拡大で自粛していた大人数の集会が半年ぶりに開かれ、「元気が出た。玉城デコー知事を支えて頑張ろう」との声が聞かれました。

数年ぶりにゲート前に来たという南城市的男性(27)は、岸田自公政権が新基地建設を強行するために、「知事の権限を奪う」「代執行」訴訟を提起したことについて、「あまりにひどいと思い、声を上げなければどうしようかと来ました」「デコー知事は行政としての苦しい立場にあっても、承認しないで新基地反対の民意を優先した」など語りました。

仲村勝彦さん(81)は、「辺野古村」は「どんどんことがあっても新基地は造らせてはならないと思って、毎日ゲート前に座り込みに来ていても声を上げ続ける」と力を込めました。

米軍普天間基地を抱える宜野湾市の40代女性は、「普天間基地はなくなつてしまいけど、新たな基地は絶対に造つてほしくないです。基地は苦しんできた同じ思いを、他の地域の人たちにさせたくないから」と話しました。

京都から訪れた女性は、「沖縄の人たちは新基地反対の民意を示し続けているのに、政府のなりふり構わない沖縄いじめは止められていない。私たち屋外に住む有権者の民主主義が問われているんだと思います」と語りました。

知事支え「一緒にたたかう」